

うしねふもと

牛根麓地区広域漁港整備事業 ～ブリの生産活動を支える安全で効率的な漁港の整備～

位置図



■大隈地域のブリ養殖拠点。県全体の5割以上を生産。

■中でもカンパチはブランド「海の桜勘」として全国に出荷。

事業主体： 鹿児島県
総事業費： 3,520百万円
実施期間： H20～H29
B/C=1.26
B=3,387百万円
C=2,685百万円

進入波を防ぎ、水揚げ作業等の安全性と効率性を確保するため、防波堤を設置



水揚げ作業等の効率を向上させるため、岸壁、用地、道路等を整備



現在の施設は進入波を避けるため床面が高く、水揚げや給餌作業に多大な労力と危険を伴う



係留施設の不足から多くの漁船が泊地内や沖合で作業待ちを行っている

牛根麓地区広域漁港整備事業 ～ブリの生産活動を支える安全で効率的な漁港の整備～

課題

○港内静穏度が悪く、また係留施設等が不足しているため、漁業活動が制約

・水揚げの待ち時間が発生し、出荷までに4時間近くを要しており、ブリの鮮度が低下

・ブリの需要の高まる冬期の出荷増加が求められているが、施設不足等から増加が困難

整備による直接効果

○防波堤及び係留施設等を整備することで、安全かつ円滑な漁業活動が可能

・出荷までの所要時間を2時間程度に短縮すること等で、30円/kg程度の出荷価格の上昇が見込まれる

・需要が低い2～3月の出荷ブリを需要の高い12～1月に出荷することで、価格の高い12～1月の出荷量を3割程度増加させることが可能となり、年間の出荷額の増加が見込まれる

直接効果額

・出荷時間の短縮による出荷価格向上効果
年間183百万円

・消費者需要に合わせた出荷による出荷額増加効果
年間80百万円

計263百万円

牛根麓地区広域漁港整備事業 ～ブリの生産活動を支える安全で効率的な漁港の整備～

直接効果をもとに、鹿児島県垂水圏域の産業連関表を用いて、経済波及効果を算定

